

コロナ禍だからこそ盲導犬ユーザーへの「声かけ」が必要

サニクリーンは「盲導犬応援プロジェクト」への支援をしています

株式会社サニクリーン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山田健、以下「サニクリーン」）は、一般社団法人盲導犬総合支援センター（以下、「盲導犬総合支援センター」）が展開する「盲導犬応援プロジェクト」を支援するため、盲導犬ユーザーへの声かけ方法が学べる「声かけパンフ」への製作に協力しております。

サニクリーンでは公益財団法人日本盲導犬協会（以下、「日本盲導犬協会」）および盲導犬総合支援センターへの支援を通じ、盲導犬ユーザーが暮らしやすい街をつくることに貢献しております。盲導犬総合支援センターでは、盲導犬ユーザーへの声かけを広めるため、2017年5月より「声かけパンフ」を製作・配布。サニクリーンも製作に協力し、2021年4月現在、60万部の配布を達成されました。



■声かけパンフとは

街で盲導犬ユーザーを見かけたときの、声かけやお手伝い方法が学べるパンフレット。声かけのポイントやお手伝いを断られたときの対処、盲導犬ユーザーからの声などを掲載している。パンフは下記サイトより無料（送料発生）で取り寄せることが可能。

サイト：<https://www.gomoudouken.net/view/item/00000003047>

サニクリーンからのメッセージ：

<https://goguidedogs.jp/project/202012kikaku-2>

■新型コロナウイルスによる盲導犬ユーザー（視覚障がい者）への影響

日本盲導犬協会によるユーザーへの聞き取り調査では、「レジに並ぶ列でも人との距離がわからない」「消毒液の置き場所がわからない」や、コロナを理由に手引きのサポートや盲導犬受け入れを拒否されるという声があると判明。コロナ禍により視覚障がい者は、以前にも増して不自由を感じているようです。コロナ禍において視覚障がい者への「声かけ」や「サポート」は重要であり、これまで以上に声かけ方法を広めていく必要があると言えます。正しい声かけ方法の普及のため、ご協力のほどお願いいたします。

（参考：<https://bit.ly/3mR1tbQ> 日本盲導犬協会 コロナ禍の盲導犬ユーザー『困りごと』聞き取り調査「消毒液の置き場所や人との間隔が分からない」）

■会社概要

株式会社サニクリーン
東京都中央区日本橋二丁目 11 番 2 号-20 階
<https://www.sanikleen.co.jp/>

■本リリースに関する問合せ先

広報担当：目崎（めぎき）
TEL：03-3276-7277
e-mail：info-sk@sanikleen.co.jp